

天正 8 年

飯沼 龍昌寺旧蔵文書

原本散逸

斎藤廣様コピー所蔵

御改め松ヶ島村始り帳

令和 4 年 補遺

八幡史学館

甲野橋本堂

御書

月六十一

明治三十二年

行一新

知縣葉山文

日年

水野由村

文

録召龍日寺文
現文

所有者

〒290-0035 千葉県市原市松ヶ島二二四
齋藤 廣
電話〇四三六一二二二五六三

天保五年辛酉秋蘇曼齋成林。習字。單。

水野養濃守秘部。九月。

天保十一年

朝倉宗久紀由支文配所

紀由支

十三年

水代官藤田為記部支配所

紀由支

水代官藤田為記部支配所

天保十三年

水代官藤田為記部支配所

水代官藤田為記部支配所

水代官藤田為記部支配所

水代官藤田為記部支配所

水代官藤田為記部支配所

天保十一年

水代官藤田為記部支配所

水代官藤田為記部支配所

水代官藤田為記部支配所

此處係陳氏傳一廊村下也

嘉慶六年村名已前通

河如石河寺廟古蹟

天保之辰六月三日殺

森貴冠林此是龍所走

森貴冠林

村名已前

森貴冠林

此是龍所

知所新

天保二年六月

安永九年

御祖三石山稻葉又配所

後天明元年

後田代内方法部校

天明六年

村方少吉通

備前川合出穀部

是方少吉

備前川合出

備前川合出

京の和

元祐元年八月十日

神虎高門少補校知事

至德元年十月十日

神虎高門少補校知事

慶安二年

神虎高門少補校知事

宣曆二年

神虎高門少補校知事

明和二年

神虎高門少補校知事

天正七年九月十九日

長安府司馬大輔

長安府司馬大輔

天正七年九月十九日

天正七年九月十九日

備忘以爲記

長安府司馬大輔

天正七年九月十九日

長安府司馬大輔

天正七年九月十九日

長安府司馬大輔

天正七年九月十九日

新田切立園致人

新田切立園致人

新田切立園致人

新田切立園致人

新田切立園致人

新田切立園致人

新田切立園致人

新田切立園致人

新田切立園致人

新田切立園致人

新田切立園致人

新田切立園致人

天正八年

西波香清村精張

辰元月十日

飯沼・龍昌寺文書（原本散逸Ⅱ斎藤廣楳コピ―所蔵）
Ⅱ天保3年（1832）十後筆

天正八年（1580）
御改め松ケ嶋村始まり嘆
辰四月十三日改め

新田切り立て開墾人

飯沼村出 斎藤庄之介

同 国吉伝三郎

これより三人は浪人、岩見者と申すなり

戸田丹治

同 田中六太夫

同 永井平馬

同 斎藤七兵衛

磯谷庄五郎

森 平吉

国橋五郎兵衛

切り立て長百姓九人

領主

御高七万二千七百石余

長南式部大輔様

内 田永治郎

河口善太夫

天正十二甲申年三月より十二月九日までに

領主の御蔵立つ

文祿四未年（1596）十月三日

酒井熊太郎様知行所なり

慶長七寅（1602）二月十四日

御代官岡部治右衛門様となり

同十五戌（1610）九月十七日に

御代官飯田吉左衛門様となり

元和七酉年（1621）八月十二日に

神尾官内少輔様知行所となり

正保元申年（1644）十月二十四日

神尾政右衛門様と御改めになり

慶安二丑年（1649）に

御代官天羽七右衛門様となり

宝曆十三年（1763）

御代官吉田源之介様となり

明和八年（1771）

御代官所伊名（奈）半左衛門様となり

安永〇（虫くい）年

稲垣三右衛門様御支配所となり

*天明六年（1786）として村方六歩（分Ⅱ以降修正）通り

榊原八兵衛様知行所となり 六分方

*天明八年（1788）

御代官所内方鉄五郎様となり

これより二給となり

寛政十二年（1800）

御代官瀧川小右衛門様御支配所となり 四分方

享和三年（1803）

御代官鈴木伝一郎様となり 四分方

文化六年（1809）村方四分通り

阿部駿河守領分と改む 四分方

天保三辰（1832）六月に阿部様引き替えとなり

御代官森覚藏様御支配所となり 四分方

森覚藏様、村方四分 御支配所

榊原内蔵之介様、同六分 知行所

天保三辰（1832）七月日（作成日）

（以降追加後筆）

天保五年（1834）秋、森覚藏様御引き替え 四分通り

水野美濃守様御知行所となり

天保十二丑年（1841）

朝倉外記御支配所と成る 四分方

同 十三年（1842）

御代官所篠田藤四郎支配所と成る 四分方

同 十四年（1843）

御代官勝田次郎支配と成る 四分方

天保十四年卯六月、御改政につき

榊原主斗様御知行所、村方六分どおり

御上地に成られ、この年まで天明六年より二十八年めに

て引き替わる。八月みなやめになる

同十七年（1746）春 四分方

高木清右衛門御代官所に成る

弘化三年（1846）午正月

御代官岩田銀三郎支配所 村方四分

榊原主斗様 村方六分

（年号無記Ⅱ慶応四年七月旧幕最終時点）

中野播磨守知行所 村方四分

榊原岩五郎 村六分

慶応二（四）年（1868）辰七月吉日

御一新につき

知県事柴山文平様御支配に相成る

同年

水野出羽守様御支配所に相成る

*印Ⅱ原本は順番誤記、前後記しにしたがって差し替えた
解説（未定稿）Ⅱ市原の古文書研究会